

Wri News Letter 28

1947年2月5日発行 大阪市あやの区旭町2-12-2 WRI JAPAN

大阪周辺の方へ三号の刷り新り帳合の、製本が7日ごろからサルトンで布まります。助っ人を!

思想と行動の宣伝誌 へ直接行動へ三号 拡大へ活動

(考)

知られていないアイ
ルランドの現代史的
意味を伝える15頁の

三号はタイプが故障して休んだりして、発行がおくれています。今日現在で130頁ほど

うち残り、用紙約五万枚、表紙へ銀ねずみ色のカラーでバンシヤーンの詩人という題のデ

ッサンというちよつと自慢できるもの)なども入手。近目中から印刷をはじめます。頁数

は、いまのところ100頁位まで。へ構付

け製本までの位大丈夫か?できる)

内容が仲間の声へ響き者宛に約六十人(

①ステッカーについて。②号への批評など。せ

と政治など)③国際通信(今号は国内他誌等

にみられぬ特種ニュース(ルポ)市川白彦ほ

か三氏の山論文・④12月24日東アジア反日武

装戦線公判廷へ意見陳述(補佐人荒井幹夫)

(14頁の長文だが、ぼくはこれをよんで心の

さまがまなおもいが洗われ流されるおもしろ

た)⑤へ女の運動)が示唆するもの(アイル

ランド問題理解のEめにワットタイラー。(後

雑なアイルランドの状況、そして伝説化され

たIRAの武装闘争をどうとらえるか。全く

へはくんとへあなたのへ合言葉集へへ切手へへのりへを!

大力作論文へ住金刑務所へへくらの眼を
ひらくようなルポルターージュ。等々。

④ 創刊号はもつぱら仲間つくりのための宣

伝用 ⑤号は機関誌的意味をこの仲間用と

いつた編集だつたが、三号はその二つを綜合

して、しかもウリ日本のみえの力をあつめ

たへひよつとしたら更力以上の)質をともに

自他に見せてはがしくない)それだから大

いばりて拡大販売できる)ものが出るとい

う気がする。きつと満足してもらえろ。

⑥ その意味で大々的に本屋などに委託販売

に出したい。なまには二冊で千円(一冊七

百円は創刊号と同じ。増頁だがかわらない)

(それ以上は一冊500円の割で買取を)本屋委託

は店頭売定価500円と訂正し、納入は七掛け、

出来上つて刊行は、多分早くて2月末ですが

できれば周辺本屋に委託(又は自分が引受け)

をあげて、何部引受けという予約を八がキ

へはくんとへあなたのへ合言葉集へへ切手へへのりへを!

事務所から

Ku

3月がくるとウリが新たに再発足して、大凡一ヶ年ということになる。その発足にあたって自発的(自発)というよりむしろ独善的に、ぼく流のウリのイメージで、ウリ事務所の仕事を買つて出た。ウリ宣言なども、その意味では、きわめてウリ日本として、独自の特徴をもつた部分がある。

国際ウリはそのような自由と独自性をも認めた組織であり、それゆえにウリ日本も、メンバーにそのような立場の自由と独自性を当然のものと思つてゐる。にもかかわらず、せしてウリメンバーでないにもか、わらず、あのウリ日本は、ワシの考へではないからおかしい(一)などと、う人がある。もう十数年前ウリに所属したから、ということでは、今どのくらいに活動するということもなく、(二)だ過去のオレの時はずつぱりと、(三)というふうなことは、一体どんなを(四)

と結果があつてのことだ(五)か。ぼくは大阪にゐるので、さつぱりそんなことにはささいが、東京の一部メンバーには耳がわり(六)う。それだけの方の判断で、その(七)にほとんども一々相手してそのへん(八)な声(九)がきこえるとき、いまどうする(十)のかをきいてもらうことよ(十一)と思ふ。

④ この一年をかえりみて、ウリはそれなりの内実がわづかながつくられてきたとおも(十二)う。その一方、事務所(十三)で執したウリニース(十四)ターはともかく、直接行動(十五)の3号(十六)を含めて、刊行は実力以上の仕事(十七)だつたと思(十八)う。それはそれ(十九)のこと(二十)があつたわけ(二十一)が、一年も(二十二)ては(二十三)実(二十四)が(二十五)相当(二十六)の(二十七)やり(二十八)か(二十九)を(三十)考(三十一)え(三十二)ね(三十三)ば(三十四)水(三十五)短(三十六)ま(三十七)し(三十八)ない(三十九)だらう(四十)。四号(四十一)以後(四十二)どう(四十三)する(四十四)か、(四十五)みな(四十六)さん(四十七)の(四十八)意見(四十九)を(五十)き(五十一)いて、(五十二)一(五十三)と(五十四)ン(五十五)として(五十六)きた(五十七)ら(五十八)い(五十九)で、(六十)

と大阪ウリで話合つてゐる。要は労力と資金ということになるのだ(六十一)が、それ(六十二)文(六十三)でも(六十四)ない(六十五)……

⑤ それ(六十六)は(六十七)とも(六十八)かく(六十九)三(七十)号(七十一)刊(七十二)行(七十三)に(七十四)つ(七十五)いて(七十六)、(七十七)せ(七十八)び(七十九)力(八十)を(八十一)。それ(八十二)と(八十三)で(八十四)ま(八十五)れ(八十六)ば、(八十七)二(八十八)部(八十九)千(九十)円(九十一)の(九十二)予(九十三)約(九十四)、(九十五)又(九十六)は(九十七)前(九十八)金(九十九)送(百)付(百一)を(百二)して(百三)下(百四)さ(百五)ると(百六)送(百七)料(百八)を(百九)ふ(百)く(百一)の(百二)紙(百三)代(百四)等(百五)約(百六)二十(百七)万(百八)の(百九)必(百)要(百一)の(百二)た(百三)め(百四)に(百五)大(百六)に(百七)助(百八)かり(百九)ます(百)。

⑥ 三(百一)号(百二)を(百三)執(百四)した(百五)位(百六)階(百七)で、(百八)改(百九)めて(百)今(百一)年(百二)度(百三)ウ(百四)リ(百五)メ(百六)ン(百七)バ(百八)ー(百九)又(百)は(百一)支(百二)持(百三)者(百四)の(百五)自(百六)己(百七)確(百八)認(百九)の(百)た(百一)め(百二)の(百三)登(百四)録(百五)を(百六)や(百七)る(百八)予(百九)定(百)です(百)。昨(百一)年(百二)そ(百三)う(百四)だ(百五)つ(百六)た(百七)か(百八)ら(百九)と(百)い(百)う(百)ので(百一)なく、(百二)今(百三)年(百四)は(百五)ど(百六)う(百七)か(百八)を(百九)改(百)めて(百)同(百一)い(百二)直(百三)す(百四)ー(百五)と(百六)い(百七)う(百八)意(百九)味(百)です(百)。わ(百)ず(百)ら(百)わ(百)しく(百)め(百)ん(百)ど(百)う(百)を(百)か(百)け(百)て(百)す(百)み(百)ま(百)せん(百)が、(百)せ(百)び(百)登(百)録(百)を(百)。但(百)し(百)登(百)録(百)の(百)里(百)三(百)千(百)円(百)を(百)出(百)す(百)。(百)見(百)返(百)り(百)は(百)直(百)接(百)行(百)動(百)を(百)送(百)る(百)し(百)だ(百)け(百)で、(百)登(百)録(百)し(百)ない(百)場(百)合(百)と、(百)取(百)扱(百)い(百)に(百)は(百)か(百)わ(百)り(百)ませ(百)ん(百)。

⑦ 時(百一)々(百二)ハ(百三)ガ(百四)キ(百五)で(百六)も(百七)便(百八)り(百九)を(百)下(百)さ(百)し(百)。